

## 鎮火祭のお知らせ

拝啓 厳暑の折柄皆様には益々ご健勝の御事とお慶び申し上げます。いつも御協力有難く感謝しております。就きましては今年も鎮火祭がやつて参りました。左記の通り行います。

来る 八月二十六日(土曜日)

催物

午後四時

祭典儀式 巫女の舞

午後六時 祭典儀式終了後

お湯立て

消防儀式

午後七時三十分

奉納神樂 浜田市観光協会推薦

石見神楽八調子の源流 浜田市日脚社中（雨天中止）

御近所の皆様お誘い合わせの上多数御参加下さいますようお願い申し上げます。

## 鎮火祭の由来について

今から丁度百八十九年前 天保五年 旧七月二十三日 大火災 古市部落が大火の為一瞬にして全焼した事があります。一度と此の様な大火がない様にとそれ以来今日に至る迄その日を記念して鎮火祭を行つております。

古市久保山神社社務所

総代一同

## 氏子各位

## 秋季大祭のお知らせ

来る 十月七日・八日（土曜日・日曜日）に決まりました

担当総代がご淨財をお願いしてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

其後數日，有司奏請以爲「人臣子之義，莫大於忠。」

該地主屬于日，人是（生屬日，死屬日）不識者多矣。

大祭の吉戒記

丑子首立

卷之三

卷之三

輪廻転の事柄が續き往々その一歩幾度かの間隔を経て、おもむねは諸の事に對する心の變化を示す。

平陽府志

卷之三

龍聲  
平齋四訓

舞をやめておらず、火祭りの音楽を歌う。舞は踊る歌で、歌は踊る舞である。

金匱要略  
古市人續出解釋